

目次 Contents

青年には読書が似合う 図書館長 木幡 文徳 1

経済学部

自由地と自由貨幣による自然的経済秩序 シルビオ・ゲゼル著 相田 慎一 2

サッチャー時代のイギリス 森嶋通夫著 永島 剛 2

法学部

響きと怒り フォークナー著・私はどうして私なのか 大庭健著・松谷警部と目黒の雨 平石貴樹著
上原 正博 3

「大岡裁き」の法意識 青木人志著 小野 新 4

経営学部

強い円は日本の国益 榊原英資著 倉持 俊弥 5

夜の語り部 ラフィク・シャミ著 西口 拓子 6

商学部

統計学が最強の学問である 西内啓著 奥瀬 喜之 7

人間の運命 ショーロホフ著・サイのクララの大旅行 グリニス・リドリー著 飯田 巳貴 8

文学部

龍の棲む日本 黒田日出男著 上原 秀明 9

知的生産の技術 梅棹忠夫著 野口 武悟 10

サー・ガウェインと緑の騎士 池上忠弘訳 松下 知紀 11

ネットワーク情報学部

独創は闘いにある 西澤潤一著 田中 稔 12

人間科学部

図書館の無目的探訪の勧め 中沢 仁 13

法科大学院

権利のための闘争 イェーリング著 武知 政芳 13